

PayPay銀行の主要株主が異動直ちに格付に影響せず

以下は、Zフィナンシャル株式会社が保有するPayPay銀行株式会社（証券コード：一）の株式をPayPay株式会社へ譲渡することについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■ 見解

- (1) PayPayおよびLINEヤフー（長期発行体格付：AA-/安定的、LY）、LYの中間持株会社であるZフィナンシャルは、Zフィナンシャルが保有するPayPay銀行（PPBK）の普通株式およびA種優先株式をPayPayに譲渡することを決定したと発表した。関係当局の許認可等が得られることを前提とし、25年4月1日の効力発生を予定している。
- (2) 本件譲渡は、PPBKの格付に直ちに影響しないとJCRは考えている。PPBKの長期発行体格付は、LYによる支配・関与度およびLYグループにおける経営的重要性を踏まえ、LYと同格としている。本件譲渡後もPPBKは引き続きLYの重要な子会社である点に変化は生じないとJCRはみている。LYが、PayPayを中心としたサービス連携により金融事業を強化する中、PPBKが担う銀行機能の戦略的・機能的重要性は一層増していくとみており、今後、PPBKとPayPayの連携強化によりシナジーを一段と高めていけるか注目していく。一方、PayPayが成長戦略を加速させるなか、LYおよびPayPayグループにおけるPPBKの位置付けなどに変化が生じることがないか見守っていく。

（担当）大石 剛・志村 直樹

【参考】

発行体：PayPay銀行株式会社

長期発行体格付：AA-

見通し：安定的

■ 留意事項

本書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであります。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると暗示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遗漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■ NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル